

第1158例会 創立記念日を控えて 担当：クラブ管理運営委員会



厚木県央ロータリークラブ



クラブ概況

1. 創立及び沿革

| | | | | | | | | | |
|-----|---|---|--------------|---|-------------|-----------|------------|-------|-------------|
| 創 | 立 | … | 1998年4月24日 | | | | | | |
| R I | 認 | 証 | … 1998年4月30日 | | | | | | |
| 創 | 立 | メ | ン | バ | ー | … | 31名 | | |
| 認 | 証 | 状 | 伝 | 達 | 式 | … | 1998年11月1日 | | |
| ス | ポ | ン | サ | ー | ク | ラ | ブ | … | 厚木中ロータリークラブ |
| 特 | 別 | 代 | 表 | … | 石川 範義 | | | | |
| 創 | 立 | 時 | ガ | バ | ナ | ー | … | 小山 計玄 | |
| 第 | 一 | 回 | 例 | 会 | … | 1998年5月1日 | | | |
| 同 | 例 | 会 | 場 | … | 厚木アーバンホテル2階 | | | | |

2. 友好クラブ

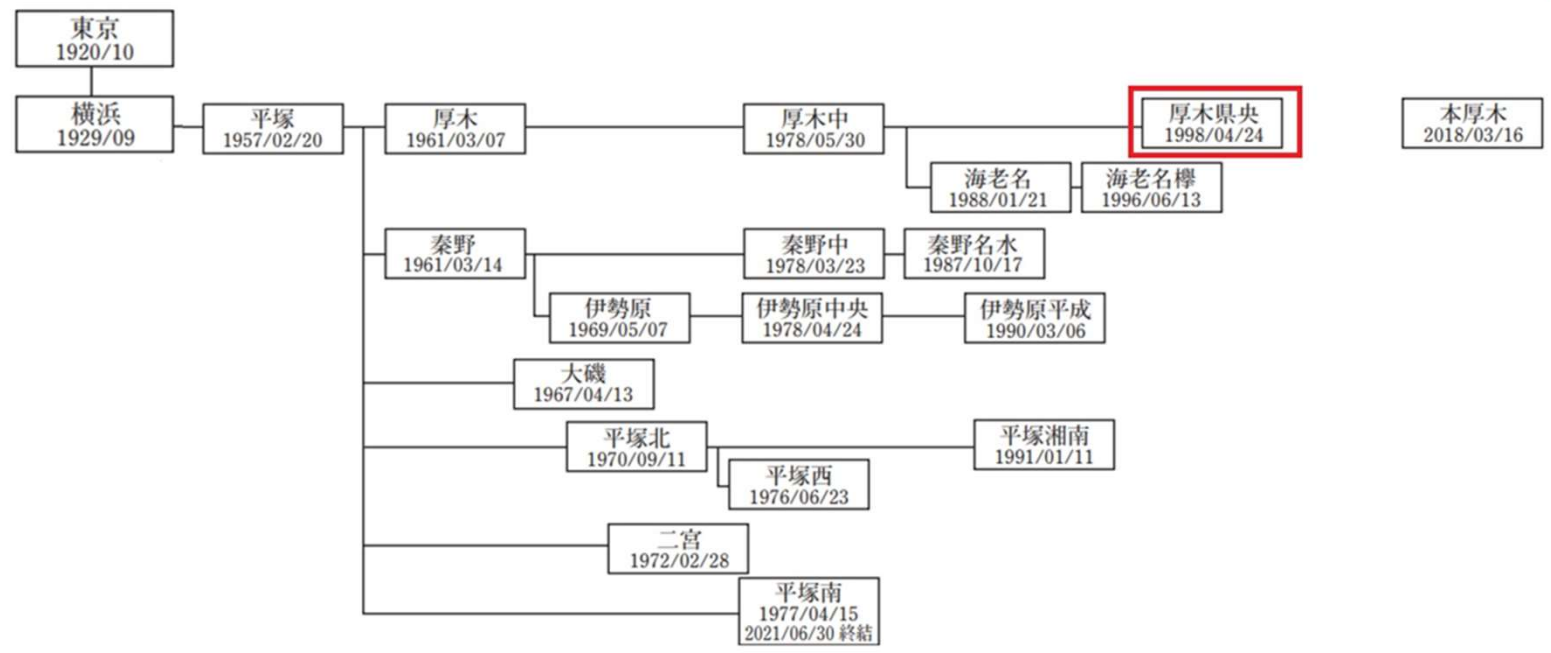
山口県央ロータリークラブ (2023-2024年度 友好クラブ締結)



厚木県央ロータリークラブ



クラブ派生図



厚木県央ロータリークラブ



第100例会 1999年4月25日
創立認証 100回記念例会



Rotary
District 2780

厚木県央ロータリークラブ



ロータリーの目的
意義のある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育む事にある

- 第1 知り合いを広める事によって奉仕の機会とする事
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値のある物と認識し社会奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔な物にする事
- 第3 ロータリアンが1人1人、個人としてまた、事業及び社会生活において日々、奉仕の理念を実践する事
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際社会・親善・平和を推進する事



厚木県央ロータリークラブ



なぜ新クラブをつくるのか？

大半の新クラブはロータリアンによって設立されますが、ロータリークラブ会員ではない人も地域社会で新クラブを設立することをガバナーに提案できます。新クラブ設立のメリットはさまざまです。

- ① より積極的に地域社会で活動できる
- ① 人びとの生活に変化をもたらすことができる
- ① 奉仕プロジェクトに関心がある地元や海外の人たちとのつながりを築くことができる
- ① 活動を通じてリーダーシップのスキルを伸ばし、人として成長できる
- ① クラブ独自の文化を形成し、奉仕の目標に取り組むことで、自分自身と地域社会に変化をもたらすことができる

既にロータリークラブ会員である人は、クラブでの経験が自分自身、地域社会、そしてロータリー全体に何をもたらすことができるかをご存じでしょう。クラブを設立することで次のことが可能になります：

- ① 新しいかたちでロータリーを経験できる機会をもたらし、クラブの多様性を向上させる
- ① 職業スキルとリーダーとしてスキルを伸ばし、人としての成長を図る
- ① さまざまな関心に応える多様なクラブ形態を模索する
- ① 新しいプロジェクトの可能性を探る
- ① 地域社会の異なる職種の人びとと出会い、新しいアイデアを得る

このガイドでは、新クラブ設立の起草から加盟式典に至る設立手順を説明しており、「地元でロータリークラブがない」、「新しいクラブをつくりたい」、「地区の会員数を増やしたい」など、クラブ結成に関心のあるすべての方にご参照いただけます。

ロータリーは地域社会のニーズに応えるために進化する必要があります。新クラブ設立によって、ロータリーの可能性を広げることができます。



厚木県央ロータリークラブ



新クラブの結成は、ロータリーの戦略的優先事項の二つである「参加者の基盤を広げる」と「インパクトを高める」を推し進める最も効果的な方法の一つです。革新的な新クラブやクラブ形式が増えている地域では、会員数が純増していることもわかっています。「既存のクラブと競合してしまう」という考えにとらわれず、各地の既存会員や将来の会員に、個人的成長とネットワーク構築の機会を提供していけるよう、さまざまな方法を受け入れる必要があります。

— ジェニファー・ジョーンズ
(RI会長エレクト)

バーチャル形式に適応していく上で、Eクラブ、バーチャル形式クラブ、ハイブリッドクラブは大きな将来性があると感じています。特定の目的に対するニーズが高い場合、その目的を基盤とするクラブを作ることが人びとの参加を促す有意義な方法となります。柔軟なクラブが求められているのは、それが若い人たちのニーズに適っているからです。ニーズに合わせて対応していきましょう。

— シェカール・メータ (RI会長)



厚木県央ロータリークラブ

